

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	04	05	8513	都市施設機能改善事業(H25繰越分)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	2	公共交通の確保			
目的	交通広場の利便性の向上					
対象	新花巻駅、花巻駅及び駅前広場周辺利用者					
意図	新花巻駅、花巻駅利用者及び商店街の利便性を図る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
花巻駅前広場へのバスシェルター2基の設置 (H25繰越事業・H26.12.15完成)						
①木造平屋建て(デザインシェルター) 建築面積 43.06㎡ (7番乗り場付近)						
②鉄筋造平屋建て(既存シェルターと同デザインのシェルター) 建築面積 4.20㎡ (4番乗り場付近)						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	(繰越事業見合いの指標未設定)		計画			
			実績			
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	(繰越事業見合いの指標未設定)		目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
(繰越事業見合いの指標未設定)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	交通広場の利便性の向上は、住民生活に不可欠であり、公共関与は妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	花巻駅前広場にバスシェルターを設置することでバス待ち環境の改善が図られ、花巻駅におけるバス利用者の利便性の向上及び公共交通の利用促進に寄与し、成果の向上が期待できる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	可能なかぎりコスト削減を図っている。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	利用者に費用負担を求めるものではなく、全ての公共交通利用者の受益機会を確保していることから、公平性は適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
市の公共交通ネットワークの拠点である花巻駅前広場のバスターミナルに、バスシェルター2基を設置することで、バス待ち環境の改善が図られ、花巻駅におけるバス利用者の利便性が向上した。また、駅前広場中央部(7番乗り場付近)には、木材を使用したデザインシェルターを設置し、「利用してみたい公共交通」の雰囲気づくりに寄与し、公共交通の利用促進に貢献することが期待できる。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	08	04	05	8513	都市施設機能改善事業(H25繰越分)

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		47,733	13,946		△ 33,787
財源内訳	国・県		3,889		3,889
	地方債				
	その他	30,436			△ 30,436
	一般財源	17,297	10,057		△ 7,240

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

公共交通の利便性を図ります

事業開始の背景・経緯

バス利用者の利便性の向上を図る。

事業概要

花巻駅前広場へのバスシェルター2基の設置（H25繰越事業・H26.12.15完成）

- ①木造平屋建て(デザインシェルター)
建築面積 43.06㎡（7番乗り場付近）
- ②鉄筋造平屋建て（既存シェルターと同デザインのシェルター）
建築面積 4.20㎡（4番乗り場付近）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・デザイン性と耐久性を両立した観光都市花巻にふさわしいバスシェルターを設置する。
- ・設置場所に一部JR用地を含むことから、設置後の維持管理も含めて協議を要する。

担当部署 部名 建設部 課名 都市政策課 担当係長 粒針 満 内線 566

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

